



申込概要

主な役割と費用分担

| 項目 | iichiko 総合文化 センター | 派遣先 | 備考 |
|---------|-------------------------|-----|--|
| 出演者 | ○ | | 出演者にかかる費用（出演料・交通費）は iichiko 総合文化センターが負担します。 |
| 会場及び控室 | | ○ | 会場使用料は派遣先側で負担をお願いします。 会場は調律、準備、リハーサルのため、 開演の3~4時間前から手配をお願いします。 |
| ピアノ | | ○ | 会場所有のピアノを使用させていただきます。 ※可能な限り調律をお願いします。 ※アップライト可。 ※ピアノを使わないアーティストもいますのでピアノがなくても大丈夫です。 |
| 会場設営・準備 | | ○ | 椅子を並べる等の設営や 出演者の楽器運搬などをお手伝いいただく場合があります。 |

※ 大分県立総合文化センター（iichiko 総合文化センター）の事業として実施していますので
お知らせチラシ等の主催表示は「主催：iichiko 総合文化センター」となります。

Q & A よくあるご質問

音楽家を指定できますか？

基本的には指定できません。
ご希望に沿った音楽家をご紹介します。

お祭りなどのイベントに来ていただくことはできますか？

このプログラムは、日常生活に音楽を届けることを趣旨のひとつとしています。
イベントや催事への参加はお断りしていますので、悪しからずご了承ください。

対象人数はどれくらいですか？

基本的に、学校でいうと1クラス単位（40人前後）が対象です。
人数が多い場合は複数回に分けて実施することも可能なのでお問合せください。

音楽に詳しくないのですが、一からご相談できますか？

心配ありません！音楽面に関しては、iichiko 総合文化センターのスタッフが全面的にサポートいたします。

応募方法

こちらの応募フォームからお申し込みください >>>



お問い合わせ

(公財) 大分県芸術文化スポーツ振興財団
おでかけクラシックコンサート 係

〒870-0029 大分市高砂町 2-33 iichiko 総合文化センター内

TEL **097-533-4004** FAX **097-53-4009** (土・日曜、祝日をのぞく 10:00~17:00)

✉ kikaku@emo.or.jp



令和7年度 事業案内

iichiko 総合文化センター アウトリーチ事業

おでかけ クラシックコンサート

公益財団法人
大分県芸術文化スポーツ振興財団

おでかけクラシックコンサート

とは？

「おでかけクラシックコンサート」は、普段はコンサートホールで活躍している音楽家たちがホールを飛び出して、大分県内各地の学校や施設などに“おでかけ”し、皆さんの「日常」へクラシックコンサートをおとどけするiichiko総合文化センターの大切なアウトリーチ（※）プログラムです。皆さんが過ごす“いつもの場所”で、“いつもの仲間たち”と音楽を体験・共有してほしいという思いからスタートし、2025年で活動開始から10年を迎えます。

「子どもたちに本物の音楽を聴かせたい」という学校の先生方や「日ごろ本格的なクラシック音楽に触れるチャンスが少ないので演奏に来て欲しい」という地域の方々にご活用いただき、生演奏によるミニコンサートや芸術に触れる機会をおとどけしています。この10年の中で、実際に「学校にはない楽器を目の前で演奏してもらい、日常にはない体験ができた」「音楽を聴くことで想像力や思いやり、人間関係の大切さなどにも気付かせてもらった」「演奏者が解説などさまざまな工夫をしてくれたおかげで、普段あまり身近ではないクラシックを積極的に聴けた」「子どもたちの興味・意欲が広がった」…など、たくさんの声を寄せていただいています。



演奏するのは、このプログラムに必要なスキルと条件を満たした大分ゆかりの音楽家たち。県内外で活躍中の若手演奏家が、オーディションや専門家による研修、実践のためのリハーサルを重ね、丁寧に本番に向けた準備をしてきました。弦楽器、管楽器、打楽器にピアノ、そして声…さまざまな楽器を奏でるアーティストたちがそれぞれの言葉と、心に響く上質な音楽で音楽の持つ多様な魅力をおとどけます。音楽家の出演料・交通費は当センターが負担いたします。

この企画には、おとどけ先の会場で、皆さんと私たちが一体となり、芸術や文化のすばらしさをシェアできるしあわせな時間を紡いでいけたらという思いが込められています。私たちの趣旨に共感いただける方々から、たくさんのご応募をお待ちしております。そして、多くの場所で多くの方と素敵な時間が過ごせますよう願っております。

こちらからも
詳細をご覧ください



WEB



YouTube



※アウトリーチ = 地域の皆さんのもとへ芸術の持つ楽しみや喜びをおとどける活動のこと

派遣先 | 県内小中学校、支援学校、公民館など公立施設

特別協賛：三和酒類株式会社

助成：一般財団法人 地域創造

本事業のポイント



1

「日常」へ音楽をおとどけます

クラシック音楽のプロの演奏家が、皆さんが普段生活している“いつもの場所”で生演奏を披露します。“いつもの仲間たち”と共有する生演奏の迫力・臨場感は貴重な体験となります。

2

少人数にこだわっています

マイクを使わずにリアルな声や音がとどく距離感を大事にしています。少人数で行うからこそその醍醐味があるので、40名前後でのお申込みを基本とします。人数が多い場合は、複数回に分けて実施できるか検討させていただきます。



3

音楽家は研修を受けています

コンサートホールで開催される演奏会とは異なり、奏者はアウトリーチのための特別な研修を受けています。子どもたちや地域の皆さんの前でお話と演奏ができるようにプログラムの組み立てや曲目の選定、絵本や映像を使用する工夫をしており、皆さんを飽きさせません。

※以上の趣旨から、一般的なミニコンサートのご依頼はお断りさせていただいています。



4

わかりやすく解説します

楽器の構造・発声や作曲家の紹介、楽曲の成り立ちなど音楽にまつわる基本的知識を、実物を見せて実際に演奏してみせ、わかりやすくお話しします。

5

授業時間に合わせます

学校の授業時間1時限分（45分間程度）、40名前後の児童・生徒数に合わせたプログラムを作成しており、特別な時間割変更は必要ありません。

事例 01 小学校 ①

アーティスト

リアンデュオ
Lien duo (パーカッション)

曲目

ドミトリー・カバレフスキー
道化師のギャロップ

ルロイ・アンダーソン
シンコペーテッド・クロック

A. ハチャトゥリアン
バレエ音楽「ガイース」より
「バラの乙女たちの踊り」
「剣の舞」

ほか



「たった一度の経験が未来を創るきっかけに」

打楽器(パーカッション)は、叩くと音が鳴る楽器のこと。こどもたちにも身近なタンバリンに始まり、「ザーツ」と波の音を立てるオーシャンドラム、「カッコカッコ」と時計のリズムを刻むウッドブロックなどのユニークな音が出る楽器まで、さまざまな種類があります。この日のコンサートではまず、そんな打楽器の種類の多さを解説や演奏、パフォーマンスで楽しく紹介。オーシャンドラムの音色を聴いたこどもたちからは、思わず「涼しくなってきた気がする!」という感想が飛び出しました。叩くだけでなく、傾けたり振ったりして色んな奏法があることも披露。また、マリンバの演奏では、躍動感のある元気な曲と温もりを感じられる静かな曲を2曲続けて演奏し、1つで多様な音色を奏でられる、楽器の魅力を存分に伝えました。

人や物との出会い(繋がり/縁=Lien)を大切にしている Lien duo は、コンサートでの演奏とお話を通じて、「たった一度の経験でも人生に大きな影響を与えることがあり、それが未来を創るきっかけになる」と伝え続けています。



波の音が
きこえてきた!



すごーい!

こどもたちの周りをグルッと
移動&演奏しながら登場!



アンケートより

● いろんな音が気持ち良かったからまた聴きたいと思った / 5年生 ● 私たちのまわりをまわったり、楽器を奪い合ったりするところが楽しかった / 6年生 ● 児童にも身近な打楽器で、どんな曲でも演奏できる可能性の大きさが伝わりました / 教員 ● 生演奏を聴く機会はなかなかないので、音の響きあい肌で感じられ、全身で音楽を聴く体験ができたのが良かったし、こどもたちは新たな音楽の感じ方を知ることができたと思います / 教員

事例 02 小学校 ②

アーティスト

ピアーチェ (ソプラノ / ピアノ)

曲目

アラン・メンケン
映画「リトルマーメイド」より
「アンダー・ザ・シー」

セルゲイ・ラフマニノフ
鐘

ジャコモ・プッチーニ
オペラ「ジャンニ・スキッキ」より
「私のお父さん」

詞 幾嶋明日香 曲 山田奈津紀
Treasure

ほか



「オリジナル曲に想いを乗せて」

ピアーチェという名前はイタリア語で〈喜び / 自由〉という意味。その名前に「音楽を自由に楽しんでほしい」という願いを込めて、ソプラノとピアノの演奏をおとどけしている2人組です。この日は、海沿いにある小学校にちなみ、映画『リトルマーメイド』のワクワクする曲でコンサートをスタート。その瞬間、いつもは授業を受けている音楽室という空間が、コンサート会場に変身! 集まったこどもたちは、目の前で演奏されるピアノとソプラノの音楽に乗って体を揺らし、目を輝かせながら聴き入っていました。そんなこどもたちに、ただ演奏を聴かせるのではなく、クイズや自作の紙芝居を取り入れながら、曲に込められた物語や想いまで伝えていきます。

また、ピアーチェは作詞・作曲を得意としており、この日は校歌の伴奏を表現豊かにアレンジして、こどもたちと一緒に歌いました。そして最後は、2人のメッセージを込めたオリジナル曲を楽しんでもらい、多彩なプログラムが幕を閉じました。



音楽室が
コンサート会場に
大変身!



アーティストと触れ合えるくらい
近い距離で音楽が聴けます



アンケートより

● 心を出しているようで、とっても心に残った / 2年生 ● 歌は全身で音を鳴らすと言っていたのが発見だった / 3年生 ● 音楽に正解はないんだなと思った / 3年生 ● 僕もあのくらい高い声出したい!! / 5年生 ● 歌の説明を入れていただいたり、紙芝居でイメージを膨らませてくださったので、こどもたちも理解しながら楽しめました / 教員 ● 歌声もピアノもさすが!と感じる美しさで、こどもたちに“本物”のすばらしさが伝わったと思います / 教員

事例 03

中学校 ①

アーティスト

かわのりな
河野 里菜 (チェロ)

曲目

バッハ
無伴奏チェロ組曲より
第1番 プレリュード

サン＝サーンス
『動物の謝肉祭』より『白鳥』

ヴィヴァルディ
『四季』より『秋』

フォーレ
エレジー

ほか



「音楽から想像してみよう」

チェロの低い音色は、聴く人を包み込んでくれるように落ち着いていて温かいのが特徴。それを奏でる河野里菜は、おでかけクラシックコンサートを通じて「音楽や芸術には答えがない。それぞれが感じた素直な気持ちを大切に、みんなで互いの答えを認め合い、いろんな気持ちを知ることで相手の気持ちに寄り添うことができる」ということを伝えています。そのため彼女のプログラムは、「想像」することを大切に進められます。

この日は、「クラシック音楽が今に受け継がれているのはなぜ?」というテーマのもと、楽器の仕組みや歴史を自作の絵とともに解説。演奏する曲の背景と一緒に想像してみるなどして、音楽のイメージを膨らませていきました。サン＝サーンスの「白鳥」では、最初に自分が想像している風景を絵に描いてみせ、曲名を告げずに演奏。何の動物のどんな様子を表現した曲か想像してみるという工夫もありました。こどもたちの心には、「国や言葉が違ってても、時代を経ても、音楽を通じて分かり合えることがあるのではないか」という気づきが芽生えたようでした。

むかしは
自然の素材から
つくられていました

「いまの曲、どんな感じがした?」
クイズ形式で、大盛り上がり!



アンケートより

- チェロの音はとても聴き心地が良かった / 1年生
- 世界の秋をメドレーで聴けたのが楽しかった / 1年生
- チェロリーナさん(里菜さん)の明るい話し方や問いかけ方が面白かった / 2年生
- 音楽部に入っているの、間近でチェロを見て興奮! / 2年生
- 印象に残った曲は「白鳥」。キレイだったし、湖のイメージがわいた / 3年生
- チェロリーナ(里菜さん)と伴奏のピアニナ(杏奈さん)がとても楽しそうにしている、こっちも楽しかった / 3年生



事例 04

中学校 ②

アーティスト

よしめまきこ
嘉目 真木子 (ソプラノ)

曲目

瀧廉太郎
花 / 荒城の月 / ひばりはうたひ

ディ・カプア
O sole mio

アンドレ・ブレビン

ミュージカル『マイ・フェア・レディ』より『I could have danced all night』

シャルル・グノー

オペラ『ファウスト』より『宝石の歌』

ほか

「音楽を通じて感じることは世界共通」

小学生の頃、大分県民オペラのジュニアコーラスに所属していたことがきっかけで声楽家を志した嘉目真木子は、東京を拠点にオペラコンサートのステージで活躍しています。ソプラノ歌手ならではの高く美しい歌声、そして想像以上の声量にこどもたちは驚きながら感動を覚えます。

大分県ではこどもたちも良く知る瀧廉太郎の曲からイタリア歌曲まで、コンサートで披露するのは幅広い選曲。この日も各国のオペラやミュージカル曲を題材に、その国の言葉を紹介しながら、歌から読み解ける日本と外国の国民性の違いや共通点にも興味を向けました。留学経験もある彼女は、「言葉や環境は違ってても、音楽を通じて感じることは世界共通」と、歌を通じてコミュニケーションの楽しさ、大切さも教えてくれます。

アンケートより

- 歌っている人の表情がすごくよくて、自然と笑顔になった / 1年生
- プログラムは元々どんな曲か知らなかったけど、全部好きになった / 1年生
- 歌声であんなに感動することを発見 / 1年生
- 国によって違う曲をいろんな想像をしながら聞くのが楽しかった / 2年生
- 普段は聴かないジャンルの音楽を聴けて楽しかった / 3年生
- 生の音、声に勝るものはないと感じました / 教員
- 曲のポイントを先に知らせたり後で聞いたりして、日本語でなくても興味深く聴けました / 教員



事例 05

児童施設

アーティスト

まつもと ふゆき
松本 富有樹(クラシックギター)

曲目

久石譲

映画『千と千尋の神隠し』より『いつも何度でも』

R. ディアンス
タンゴアンスカイ

W. A. モーツァルト
きらきら星変奏曲

G. サンス
カナリオス

ほか

「好きという気持ちが伝わってきた」

1歳半から就学前のこどもたちが通う児童発達支援施設でのコンサート。事前に、普段から施設で歌ったり踊ったりしている曲をヒアリングした上でプログラムを構成しました。

この日はクラシックギターのほか 19世紀ギター、バロックギターの3本を弾き比べたところ、こどもたちから「こっちのギターは小さい!」「ヒゲみたいな飾りがある」などたくさんのリアクションが飛び出したほか、楽器体験にも興味津々。大きなギターを抱えながら、しっかりと音を出してくれました。また、良く知っている童謡が始まると、こどもたちは一緒に歌ってくれて、音楽がとまっても歌い続けたり、手拍子をしたりして楽しそう。その様子を見たアーティストの松本富有樹は「とても音楽が好きだという気持ちが伝わってきて嬉しくなった」と感じたようです。

アンケートより

- 音楽は皆が楽しめるものだと感じる事ができました / 教員
- 公演後、おもちゃのギターを持って真似をしている子がいました。とても楽しそうに。子どもの心にしっかりと残ったと思います / 教員
- 音楽のリズムに合わせて、楽しそうに体を揺らしたり、手拍子しているのが良かったです / 教員

※ こどもたちからは様々なイラストを描いて送っていただきました



事例 06
公民館



アーティスト

おおきた えみこ
大北 絵三子 (チェンバロ)

曲目

バッハ
プレリュード

ー 日本の歌メドレー ー

- 岡野貞一
- ふるさと
- 小林秀雄
- まっかな秋
- 南能衛
- 村祭り

フランス組曲 第5番より
アルマンド
クーラント
サラバンド
ジーク

ほか

「数百年前と同じ音色を五感で感じて」

16世紀頃から演奏されてきた、チェンバロという古楽器を演奏する大北絵三子は、「多くの人々にとって今までに見たことも、聴いたこともない楽器の魅力を伝えたい」という思いで各地を訪問しています。

蓋に絵が描かれているチェンバロは、目でも耳でも楽しめるのが醍醐味。冒頭、彼女はお祖父さまが宇佐神宮の池を描いてくれたという自身のチェンバロに注目を集めながら、演奏に入っていました。続いて、数百年も前につくられた曲をジャズ風に弾いてみたり、楽器の周りに集まってもらい、楽器の構造を解説したり。また、その繊細な音色で、ご年配の方々にはお馴染みの日本の名曲をメドレーでおとどけし、昔の楽器で奏でる日本の歌の、いつもとは違う雰囲気を、チェンバロの音を通して味わってもらいました。最後は、この日に伝えたチェンバロの魅力がギュッと詰まった、バッハの組曲で締めくくり。参加者のほとんどが初めてチェンバロに触れる方々でしたが、「演奏が目の前で聴けて良かった」と、大好評でした。



お話をしながら
楽しい時間...

どのアーティストも
県内各地で音楽をおとどけるのを
楽しみにしています



アンケートより

- いろんな綺麗な音色が好きになりました。心が癒されました / 70代
- ラジオでよく聞いているチェンバロの生音は素晴らしいかったです / 60代
- ライブで聞けるのは素晴らしい!と改めて思いました / 70代
- ゆったりした心地よい時間でした / 80代
- 音の出る仕組みの模型や写真パネルが分かりやすくて良かったです / 70代
- 間近で見たり聞いたりできて良かったです。施設の有効活用につながりました / 職員

ARTIST PROFILE

登録アーティスト プロフィール

専門家による研修を受けた15組21名のアーティストが所属しています(2025年2月現在)。
第1期は2015年～、第2期は2017年～、第3期は2019年～、第4期は2021年～活動中。
2025年春から新たに第5期メンバーが始動します。



New
第5期

みなさまに津軽三味線と箏の生音を楽しんでいただきたいです!



いと
絲 - ito -
津軽三味線 / 箏

津軽三味線の鈴木利枝と箏の齋藤雅による和楽器デュオ。2022年よりデュオとしての活動を始め、和楽器の普及のため県内や九州を中心に様々な場所で演奏活動を行うとともに、各自の教室で指導をしている。伝統的な曲に加え、和楽器に親んでもらえるようポピュラーな楽曲等も演奏する。和の弦楽器による2人組のため『絲-ito-』と命名。

未知なるユーフォニアムの魅力をおとどけます!音楽を通して豊かな時間を共有しましょう♪



いわなが ことみ
岩永 琴美
ユーフォニアム

佐賀県出身。大分県立芸術文化短期大学管弦打コース、同大学認定専攻科を共に首席で修了。第3回日本国際音楽コンペティション第1位及び姫路市長賞を受賞。現在、フリーのユーフォニアム奏者として九州各地で演奏活動や吹奏楽指導を行っている。これまでにユーフォニアムを村岡淳志、上岡敏宏の各氏に師事。

ヴァイオリンの魅力と音楽の楽しさを、笑顔いっぱいでお伝えします!一緒に楽しみましょう♪



うけぐち なこみ
笠口 和実
ヴァイオリン

大分県出身。京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を卒業。これまでに河村雅絵、川瀬麻由美、豊嶋泰嗣の各氏に師事。大分を中心に演奏活動、後進の育成を行う。大分県立芸術文化短期大学オーケストラ演奏員、iichiko グランシアタ・ジュニアオーケストラアカデミー講師。箏、ヴァイオリン、チェロの三重奏「水無月」メンバー。

第4期

チェロの魅力、音楽のもつパワーを感じていただきたいです！一緒に音楽を楽しみましょう！



かわの りな
河野 里菜
チェロ

大分市出身。緑丘高校、芸短大卒業後、同大学専攻科修了。これまで白沢あおり、辛島慎一、田村朋弘、宇野健太の各氏に師事。現在、iichiko総合文化センタージュニアオーケストラ・アカデミー講師。ヴァイオリン、チェロ、琴で構成する「水無月」のメンバー。芸短大オーケストラ演奏員。また iichiko 総合文化センターアウトリーチ登録アーティストとして子どもたちを中心に音楽の楽しさを伝えている。

まだ知られていないギターの世界に触れていただけたらと思います



まつもと ふゆき
松本 富有樹
ギター

湯布院出身。パーゼル音楽院（スイス）修士課程を修了後帰国し福岡を拠点に演奏活動を始める。古楽から現代曲まで幅広く演奏する。ルネッサンスギター、バロックギター、19世紀ギター、クラシックギターなど各時代のギターを使い分けて、ギターの音色の奥深さを届けている。第一回韓国国際ギターコンクール首席2位。2020年に1stアルバム「ロス・マエストロス」を発表。

音楽を通じてみなさんと繋がりたい。音楽と打楽器の楽しさをたくさんお伝えしたいです



リアン デュオ
Lien duo
パーカッション

大分県立芸術文化短期大学出身の上村梨世、永岡真奈による2021年結成のパーカッションデュオ。鍵盤打楽器から教育用打楽器まで幅広い楽器を使い、福岡、大分を中心に、ホールや市民公民館などでの演奏活動を行っている。Lienとはフランス語で「繋がり/縁」などの意味。目で目で、一緒に楽しめるコンサートを目指している。

第2期

仲よし2人組 prism の息の合ったアンサンブル、ピアノとホルンの美しい響きをお楽しみください♪ みなさんに会えるのを楽しみにしています！



プリズム
prism
ホルン/ピアノ

ホルンの浮島小智とピアノの浅井史帆の仲よしデュオグループ。学生時代から2人で演奏活動を行っており、その後正式に prism を結成。王道のクラシックはもちろん、珍しい作曲家のおもしろい作品や、ポピュラー、ジャズなど幅広い楽曲に積極的に取り組んでいる。手作りの小道具やフリップなどを使い音楽を親しみやすく展開していく公演スタイルは、小さい子どもから大人まで好評を得ている。

みなさんと音楽で心を通わせて思い出に残るようなひとときをつくりたいです♪



ふじさわ なな
藤澤 菜那
ピアノ

武蔵野音楽大学音楽部、同大学院音楽研究科修士課程修了。オーケストラとの共演やソロリサイタル、声楽・器楽・合唱・室内楽等ソロ、アンサンブル共に力を入れる。毎月の子ども向けコンサートや、iichiko 総合文化センターの感性育成事業等をはじめ児童との作曲、編曲にも携わるなどクラシック音楽とピアノの魅力が伝えられるよう多角的に活動を行う。

クラリネットの魅力を伝えると同時に人としてのあるべき姿を自らも模索し共有することを願います！



くらほり しょう
倉堀 翔
クラリネット

大分県立大分雄城台高等学校卒業。洗足学園音楽大学卒業。第18回別府アルゲリッチ音楽祭大分県出身若手演奏家コンサートに出演。第16回大分市ふるさとコンサート（大分市主催）にて公益社団法人アルゲリッチ芸術振興財団推薦アーティストとして出演。グレイス楽器講師。

第3期

音楽に難しいことは何ともありません。ただ、上質な音の、声のシャワーを浴びていただきたいです！



よしめ まきこ
嘉日 真木子
ソプラノ

大分県出身。国立音楽大学声楽科卒業。同大学院修了。文化庁派遣新進芸術家海外研修員としてフィレンツェとミュンヘンへ留学。'10年東京二期会《魔笛》で本格的にオペラデビュー。宮本亞門演出《魔笛》のパミーナ、《フィガロの結婚》スザンナなど話題の公演に多数出演。コンサートソリストとしても活躍。アルバム「My favorite songs〜わたしのお気に入り」をリリース。東京二期会会員。

私たちならではの自由な音を楽しむひとときを心を込めた歌とピアノでおとどけます



piarche
ピアーチェ
ソプラノ/ピアノ

大分市出身の幾嶋明日香（ソプラノ）と山田奈津紀（ピアノ）によるグループ。県内にて演奏活動を行う。2017年より毎年親子のためのコンサートを自主公演し好評を得る。コンサートでの演奏ジャンルはクラシックをベースとして多岐に渡り、曲や演目の自主制作も手掛ける。ピアーチェとは「喜び/自由に」という意味を持つ言葉。

チェンバロの魅力を会話や名曲の演奏とともにおとどけたいです



おおきた えみこ
大北 絵三子
チェンバロ

東京音楽大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学研究生チェンバロ専攻修了。チェンバロの繊細で美しい外観と響きに魅了され、現在、県内各地にて多くの方々へチェンバロを広める活動を行っている。

第1期

私たちアミティエの音楽を笑顔とともにみなさまのもとへおとどけます！



amitie
アミティエ
フルート/ギター

2013年に結成したフルート&ギターのデュオグループ。フルートの「けいこさん」と藤田圭子とギターの「しんちゃん」と溝口伸一による分かりやすい解説をモットーに、クラシック音楽を気軽に楽しんでもらえるよう、大分県内を中心に活動中！アミティエとはフランス語で「友情」という意味。

魅惑的なオーボエの音色と煌めくトランペットの黄金の響きを聴いて幸せなひとときをお過ごしください！



feliche
フェリーチェ楽団
オーボエ/トランペット

オーボエの大城裕美とトランペットの得丸幸代による世界でも珍しい組み合わせのデュオ。大分市内を中心に、クラシックの名曲から童謡唱歌、オリジナル楽曲や完全即興演奏の音姿〜オトスガタ〜など、これまでに類を見ないコンサートを展開。編曲をすべて独自に手掛けているほか、後進の指導にもあたっている。フェリーチェとはイタリアで「ごきげんな/幸せな」という意味。

心に寄り添う詞、美しい響き、一緒に歌う喜び…魅力が詰まった歌声のパワーをおとどけます



さとう ひろみ
佐藤 広美
ソプラノ

福岡教育大学院演奏学コース修了。アクロス福岡「青少年のための1万人コンサート」、文化庁/日本演奏連盟主催『新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズ』などで九州交響楽団と共演。これまでにベートーヴェン「第九」、バッハ「ヨハネ受難曲」「クリスマス・オラトリオ」、ヘンデル「メサイア」などのソプラノソリストを務める。デヴィ夫人主催「イブラ・グラッド・アワード・ジャパン 2023」声楽部門入選。